

E L E C T R I B E SX

ESX-1 Music Production Sampler

クイック・スタート

基本的な使い方をご紹介します。詳しい操作については、取扱説明書をご覧ください。

付属品

本体

AC/ACパワー・サプライ

クイック・スタート(本書)

取扱説明書

KORG

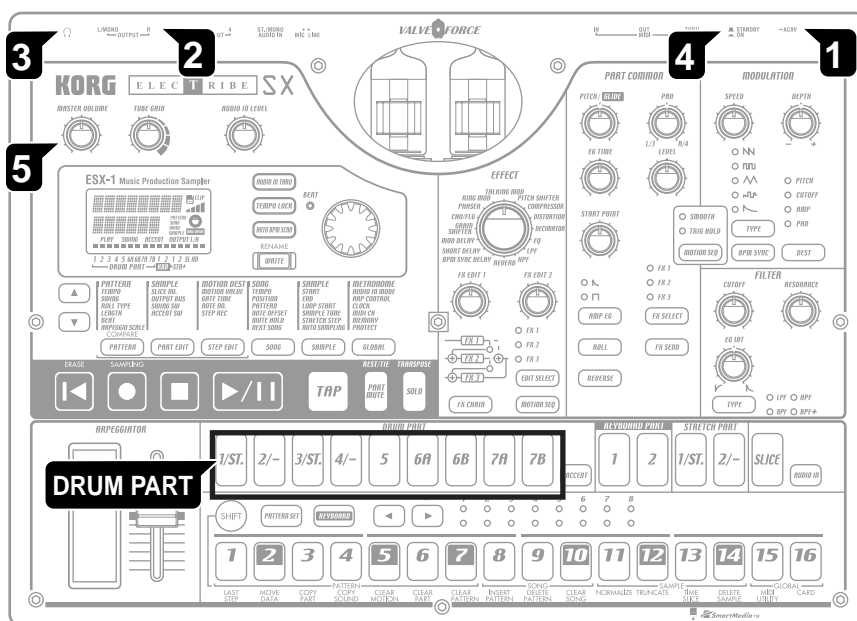
演奏の準備

- 1 付属のAC/ACパワー・サプライを～AC 9V端子に接続し、AC/ACパワー・サプライの電源プラグをコンセントに差し込みます。
- 2 ESX-1のライン・アウト端子(L/MONO、R)にケーブルを接続します。
ミキサーやパワー・モニター(アンプ内蔵スピーカー)と接続します。モニターで接続する場合は、L/MONO側に接続してください。
- 3 ヘッドホンを使う場合は、ヘッドホン端子にヘッドホンのプラグを差し込んでください。
ヘッドホン端子にプラグを差ししても、ライン・アウト端子から音声は出力しません。
- 4 すべて接続が終わったら、電源を入れます。
ESX-1のマスター・ボリュームを少し上げ、ドラム・パート・キーを叩いて音を出し、正しく接続されているかどうかチェックします。
- 5 ESX-1のマスター・ボリュームで音量を調節してください。
ミキサー、パワー・モニター側のゲインやフェーダー等も合わせて、適度な音量に調整してください。



各接続は、必ず電源を切った状態で行ってください。不注意な操作を行うと、スピーカー・システム等を破損したり、誤動作を起こす原因となりますので十分に注意してください。

ESX-1の音質を活かすためにも、ステレオ接続をおすすめします。



ソング(SONG)を聞いてみよう

本機にはデモ・ソングが保存してあります。デモ・ソングを聴いて本機の音色や可能性を確認してみましょう。

- 1 SONGキーを押します(キーが点灯)。
- 2 []カーソル・キーを押して、ディスプレイに“(ソング名)”を表示します。
- 3 ダイヤルを回してソング(S.01 ~ S.64)を選びます。
- 4 PLAY/PAUSEキーを押すと、ソングが演奏開始します(キーが点灯)。

演奏を途中で一旦停止するとき

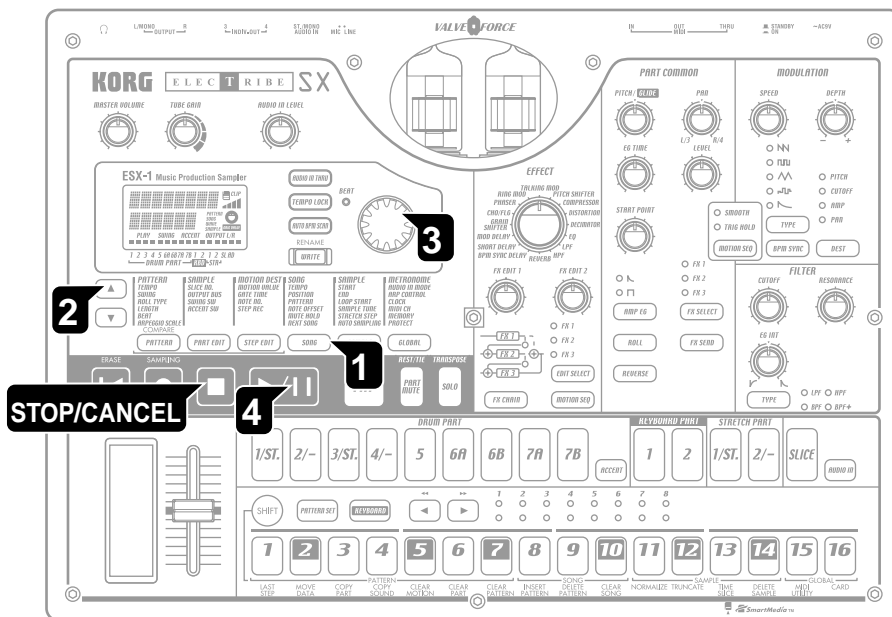
PLAY/PAUSEキーを押します(キーが点滅)。

再開するとき

もう一度PLAY/PAUSEキーを押します(キーが点灯)。

演奏を止めるとき

STOP/CANCELキーを押します。



パターンを聞いてみよう

- 1 PATTERNキーを押します(キーが点灯)。
- 2 []カーソル・キーを押して、ディスプレイに“(パターン名)”を表示します。
- 3 ダイヤルを回してパターン(A.01 ~ A.64、B.01 ~ B.64、C.01 ~ C.64、D.01 ~ D.64)を選びます。
- 4 PLAY/PAUSEキーを押してパターンを演奏します(キーが点灯)。パターンが終わったらそのパターンの先頭に戻り、くり返し演奏を行ないます。

演奏を途中で一旦停止するとき

PLAY/PAUSEキーを押します(キーが点滅)。

再開するとき

もう一度PLAY/PAUSEキーを押します(キーが点灯)。

演奏を止めるとき

STOP/CANCELキーを押します。

演奏するパターンを変更するとき

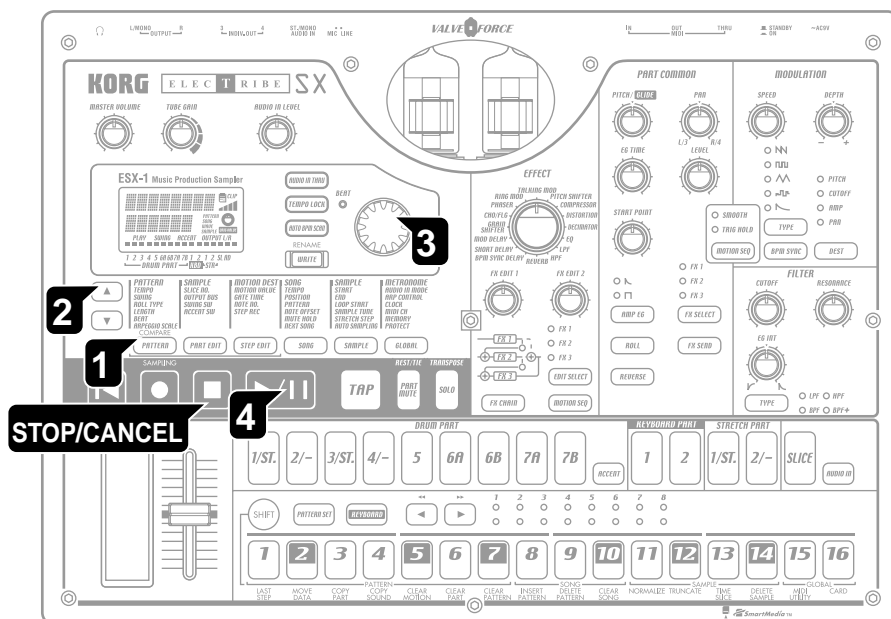
演奏を止めているときや、演奏中にダイヤルを回すとパターンを選ぶことができます。

テンポを変更するとき

[]カーソル・キーを押して、ディスプレイに“Tempo”を表示し、ダイヤルを回してテンポを変更します。

パターンとは(取扱説明書 p.35)

演奏中にパターンを変更すると、各パターンの終わりで切り替わります(取扱説明書 p.36「パターンが切り替わるタイミングについて」)。



パートの音を出してみよう

ドラム・パート・キーを押したり、キーボード・パートを選んで **KEYBOARD** キーをオンにしてステップ・キーを押すと、そのパートの音を出すことができます。

パートの音色はパターンごとに異なります。ダイヤルを回してパターンを切り替えて多彩な音色を楽しんでください。

ドラム・パートの音を出す

ドラム・パート・キー 1 から 7B を押すと、各キーに割り振られた音色で発音します。

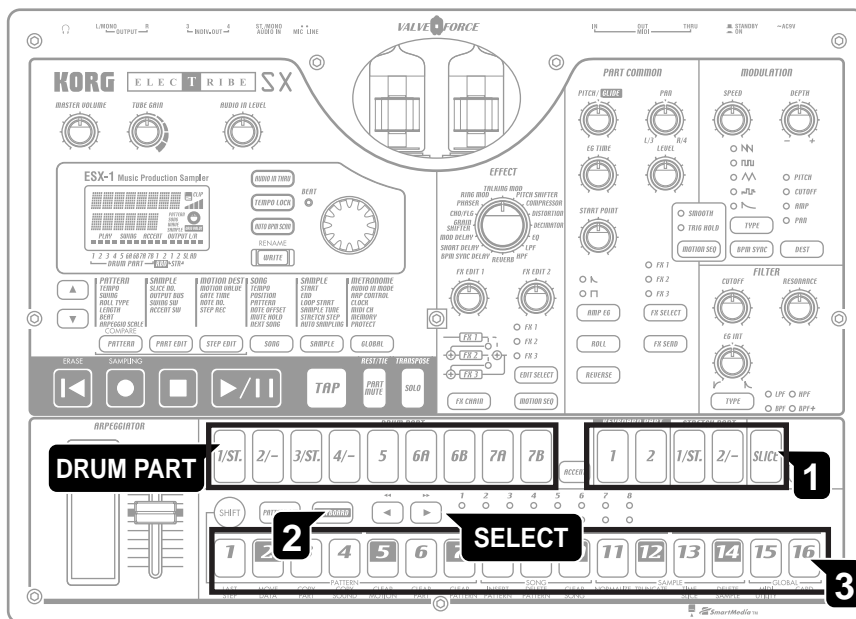
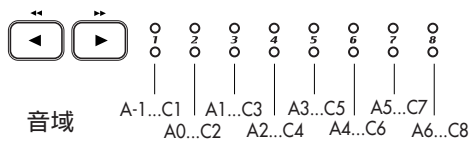
それぞれのキーには、パターンごとに異なるドラム音色が割り振られています。



ドラム・パート 6A と 6B、または 7A と 7B の音は同時に音を出すことはできません。

キーボード・パートの音を出す(キーボード機能)

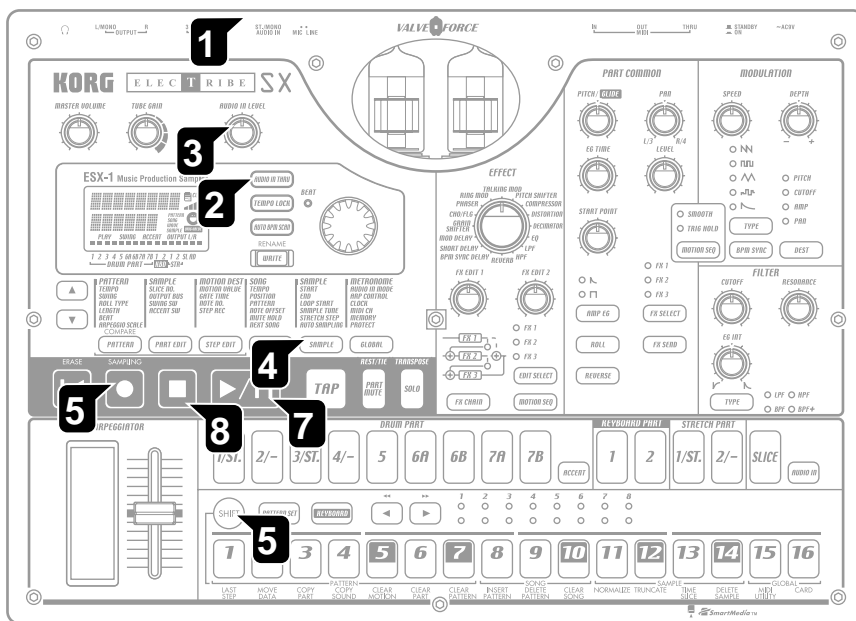
- 1** キーボード・パート・キーの 1、2 のいずれかキーを押します。(キーが点灯)。
- 2** **KEYBOARD** キーが点灯していることを確認します。
- 3** ステップ・キーを鍵盤として使用し、演奏することができます。
オクターブを変更するにはセレクト・キーを押します。
セレクト LED (下段赤) の点灯により音域は変わります。



サンプリングをしてみよう

- 1 オーディオ・イン端子(AUDIO IN)にサンプリングしたい音のオーディオ機器を接続します。
- 2 AUDIO IN THRUキーをオン(キーが点灯)にして入力音を確認します。
- 3 接続した機器の出力レベルが、最大値のときでもピーク・アイコン(CLIP)が点灯しないように、外部機器の出力レベル、または本機のAUDIO IN LEVELツマミを回して調節します。
- 4 SAMPLEキーを押します(キーが点灯)。
[]カーソル・キーを押してディスプレイの表示を“(サンプル名表示)”に合わせます(SAMPLEアイコン点灯)
- 5 SHIFTキーを押しながらRECキーを押してサンプリング待機状態にします(RECキーが点滅、PLAY/PAUSEキーが点滅)。サンプリング開始前にキャンセルする場合は、ここでSTOP/CANCELキーを押します。
- 6 サンプリング・モード(ディスプレイ“ SmplRec ”表示)を設定します。
ダイヤルを回してステレオ・サンプリング“ Stereo ”にするかモノラル・サンプリング“ Mono ”にするか、設定します。
- 7 PLAY/PAUSEキーを押して、サンプリングを始めるタイミングでスタートします(RECキーが点滅、PLAY/PAUSEキーが点灯)。
- 8 STOP/CANCELキーを押すと、サンプリングが終了します(RECキー、PLAY/PAUSEキーが消灯)。
PLAY/PAUSEキーを押すと、いまサンプリングしたサンプルを聞くことができます。

note 端子はステレオ標準プラグです。モノラル標準プラグで使用することもできます。あらかじめグローバル・モードのAUDIO IN MODEでモノラル、ステレオの切り替えをしてください(取扱説明書 p.81)。



演奏に合わせて録音してみよう

パターンを演奏中に、思いついたフレーズを演奏を停止せず録音することができます。

- 1 パターンを演奏します。(p.4)
- 2 RECキーを押します(キーが点灯)。
- 3 ドラム・パートを録音するときは、録音するパートのドラム・パート・キーをタイミングを合わせて押します。
キーボード・パートを録音するときは、録音するパートのキーボード・パート・キーを押してから、KEYBOARDキーをオンの状態にしてフレーズを入れたいタイミングで対応する音程のステップ・キーを押して録音します。
- 4 録音を終了するときには、RECキーを押します(キーが消灯)。
- 5 パターンを保存する場合はWRITE/RENAMEキーを押します。

「パターンを保存する」(取扱説明書 p.73)

